

(1) 富山のみちの整備目標

1) 道路整備の4つの基本姿勢

富山県では、これからの道路整備を進めるにあたって、4つの基本姿勢を基に道路整備を進めます。

1 「人が主役」の道づくり

誰もが使いやすく利用しやすい歩行区間の確保など、人に視点をのいた道づくりを進めます。



3 「整備効果が見える」道づくり

コスト削減に努めながら、重点投資を図るなど、スピーディな整備に努め、早く効果を発揮させます。



2 「活かし・使う」道づくり

道路をつくるだけでなく、今ある道路やシステムをより効率的に利用できるようにします。



4 「県民とともに進める」道づくり

行政と県民がパートナーシップを形成し、道づくりに取り組みます。



2) 道路整備の8つの整備目標とアウトカム指標

基本姿勢に基づき、現状の課題を踏まえて8つの目標を設定し、事業を展開していきます。この目標の達成度を毎年検証していくためのアウトカム指標を9項目設定しました。

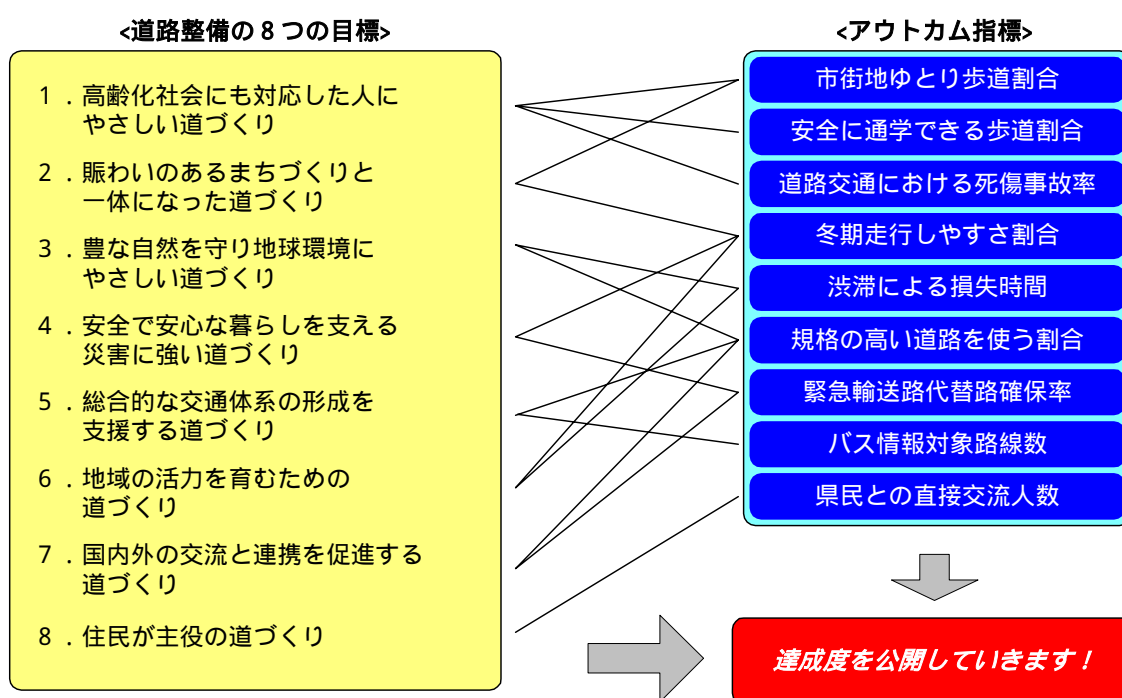




図3 - 1 アウトカム指標

(2) アウトカム指標に基づく整備目標

下記に示すアウトカム指標目標値を達成するように努めていきます。

アウトカム指標	現況値	アウトカム目標値		指標定義	備考
		H15年度	H19年度		
(1)市街地ゆとり歩道割合 (%)	65.6	67.3	73	人口が集中している地区内(DID地区)にある歩道のうち、バリアフリー化された歩道の割合	段差解消を中心に整備を行う
(2)安全に通学できる歩道割合 (%)	69.0	70.8	78	歩行者の多い特に重要な通学路のうち、歩道が設置済み延長の割合	概ね10年後に概成を目標とする
(3)道路交通における死傷事故率 (件/億台和)	87.3	87.0		自動車が1kmあたり1億台走行したときに、発生する可能性のある死傷事故件数	安心歩行エリアや事故多発地点での事故防止対策計画を策定中であり、策定後目標値を提示
(4)冬期走行しやすさ割合 (%)	38.2	39.1	42	県道以上の道路のうち、積雪に対応した道路(堆雪路肩確保、構造物設置、消融雪施設設置)の延長割合	緊急確保路線を中心に整備を行う
(5)渋滞による損失時間・損失額 (万時間/年・億円/年)	3,899 (1,149)	3,731 (1,097)		渋滞のない場合の所要時間と実際にかかる所要時間の1年間の差(時間の差の換算額)	富山高岡広域都市圏交通円滑化総合計画を策定中であり、策定後目標値を提示
(6)規格の高い道路を使う割合 (%)	8.2	8.3	9.4	全道路の自動車走行台キロのうち自動車専用道路の自動車走行台キロの割合	高規格幹線道路や地域高規格道路のネットワーク化を図る
(7)緊急輸送路代替路確保率 (%)	57	57	71	緊急時にも確保すべき道路で通行規制がある箇所のうち、他に代替路として機能する道路がある箇所の割合	中長期的に100%を目指す

【参考指標】

参考-1 バス情報対象路線数 (路線)	7	16		携帯電話やパソコンでバスの運行状況が気軽に確認できるサービスを提供するバス路線数	【参考値】 今後、より適した指標がないか検討
参考-2 県民との直接交流人数 (人)	-	2,000		県民と直接対話ができる各種懇談会やボランティアへの参加者数や、アンケートやHPなどへ寄せられる意見数	【参考値】 今後、より適した指標がないか検討

(注意)

- ・上記の目標値は概略値のため、今後、事業計画を詳細につめ、精査すると数字が変わる可能性があります。
- ・H19年度目標値の一部は、現在算定中であり、次年度の報告時に公表する予定としています。
- ・「バス情報対象路線数」、「県民との直接交流人数」は、参考値として示した指標です。より適した指標がないか、今後も検討を続けていきます。